

2022年度
あいちの市町村民経済計算
(概要編)

2025年4月18日

愛知県 県民文化局 県民生活部 統計課

この資料の内容は県統計課Webサイトで御覧になれます。

アドレス <https://www.pref.aichi.jp/site/aichitoukei/>

御 利 用 に あ た っ て

- 1 「2022年度 あいちの市町村民経済計算」は、内閣府経済社会総合研究所から提示された「県民経済計算標準方式」に準じて、愛知県が作成した「市町村民経済計算の推計方法」に基づき推計した結果です。
- 2 この報告書は、2022年度における愛知県内の市町村民経済計算の主要な部分を取りまとめたものです。統計表等詳細は、県統計課Webサイトを御覧ください。(https://www.pref.aichi.jp/site/aichitoukei/)
- 3 名古屋市については、同市が独自に推計した数値を掲載していますが、家計所得については推計を行っていないため、この報告書では掲載していません。
- 4 全市町村の合計値は、次の理由により、県民経済計算の県の数値と若干乖離があります。
 - (1) 市町村民経済計算の推計方法は、県民経済計算の推計方法と基本的な考え方は同じですが、利用する基礎資料や推計方法の一部に相違があること。
 - (2) 名古屋市については、同市が独自に推計したものであること。
- 5 この報告書は、次により記述しています。
 - (1) 県の数値は、県民経済計算による公表値であり、また、構成比は全市町村の積み上げ数値に対する割合です。
 - (2) 統計表は表示単位未満を四捨五入しているため、総数と内訳が一致しない場合があります。
 - (3) 符号の用法は、次のとおりです。

0 …… 単位未満
－ …… 該当なし又は秘匿値
 - (4) 統計表の増加率は、次式により算出しています。
$$(X_1/X_0 - 1) \times (X_0 \text{の符号}) \times 100$$

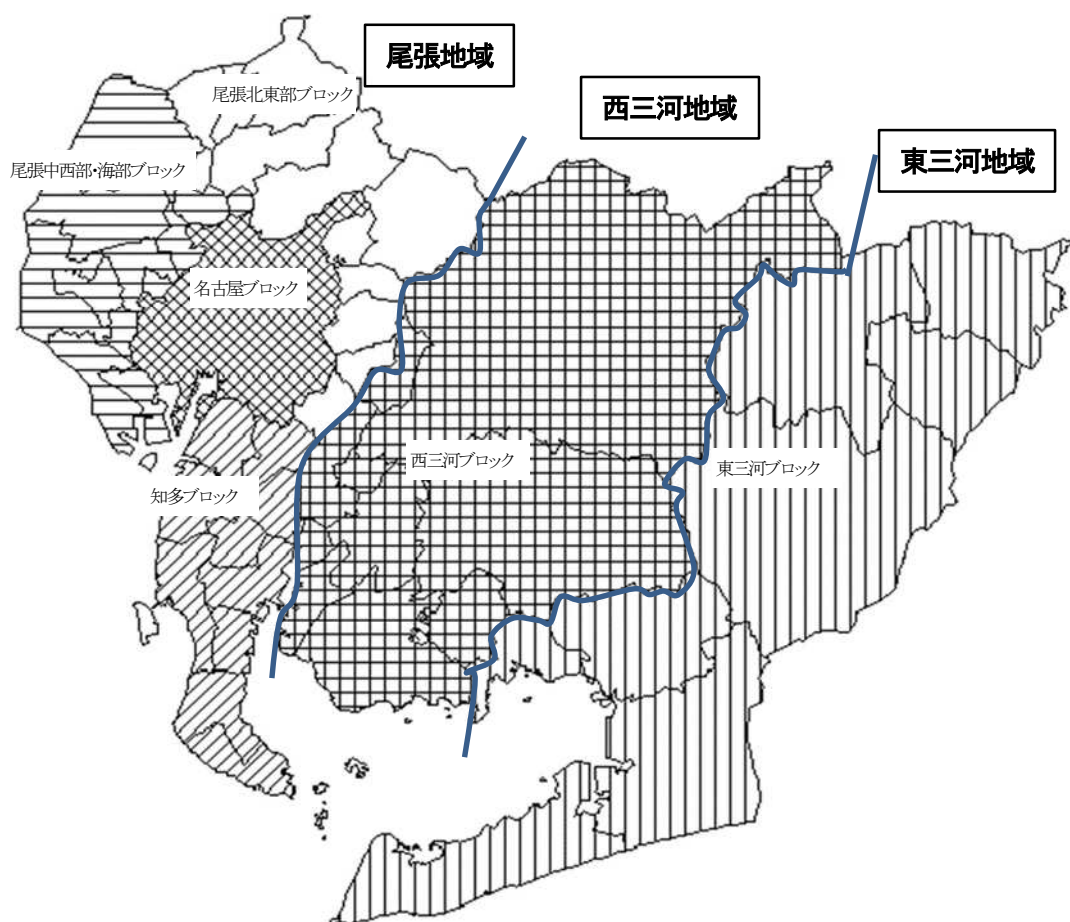
X_1 : 当年度の計数
 X_0 : 前年度の計数
- 6 市町村民経済計算は、毎年度、最新の統計資料の取り込みや推計方法の改善等によって、遡って改定をしています。したがって、過年度の数値を使用する場合であっても、最新年度の報告書を御利用ください。
- 7 経済成長率は、一般に実質経済成長率を利用しますが、市町村民経済計算では実質化ができないため、すべて名目値によります。
- 8 各市町村の人口は、県統計課「あいちの人口」の各年10月1日現在の数値です。人口一人当たり市町村民所得及び人口一人当たり家計所得も、この数値により算出しています。
- 9 この報告書についての照会等は、下記宛てにお願いします。

愛知県 県民文化局 県民生活部 統計課 統計分析グループ

〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号

電話052-954-6477 (ダイヤルイン)

地域・地域ブロック区分



尾張地域（24市・11町・1村）

名古屋ブロック（1市）

名古屋市

尾張北東部ブロック（10市・3町）

瀬戸市、春日井市、犬山市、江南市、小牧市、尾張旭市、岩倉市、豊明市、日進市、長久手市、東郷町、大口町、扶桑町

尾張中西部・海部ブロック（8市・3町・1村）

一宮市、津島市、稲沢市、愛西市、清須市、北名古屋市、弥富市、あま市、豊山町、大治町、蟹江町、飛島村

知多ブロック（5市・5町）

半田市、常滑市、東海市、大府市、知多市、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町

西三河地域（ブロック）（9市・1町）

岡崎市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、知立市、高浜市、みよし市、幸田町

東三河地域（ブロック）（5市・2町・1村）

豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市、設楽町、東栄町、豊根村

1 本県経済の概況

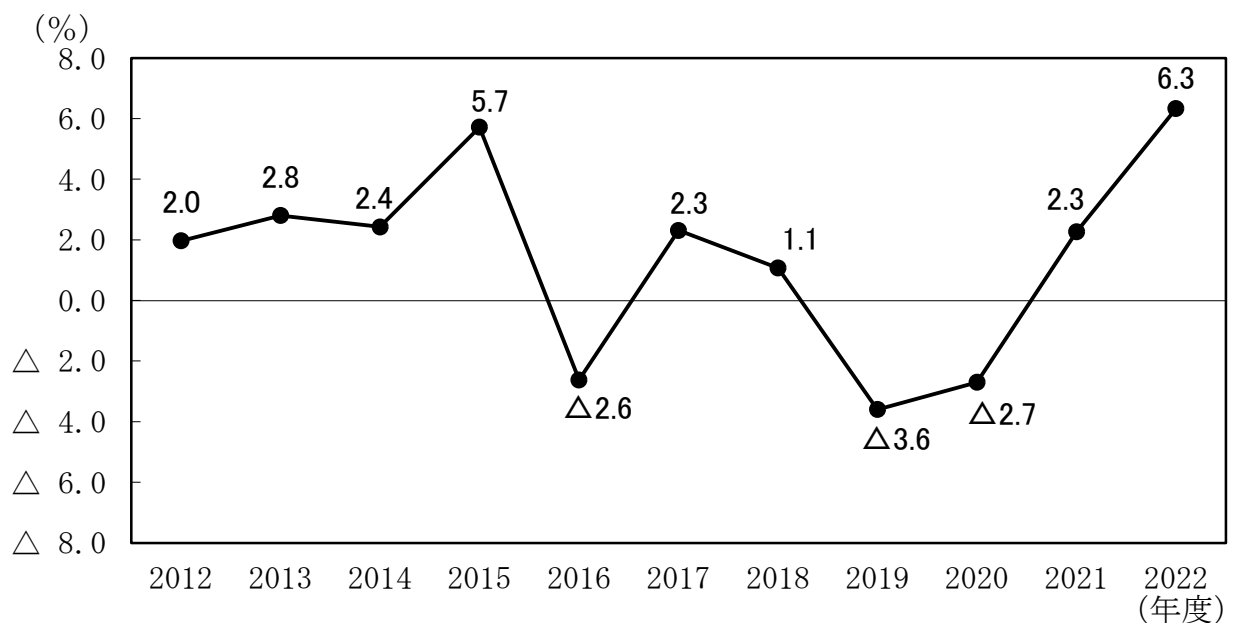
2022年度の本県経済は、新型コロナウイルス感染症に対するワクチン普及が進み、行動制限が段階的に緩和される中、緩やかに持ち直しの動きが続きました。製造業では、年度当初は主力の輸送用機械がサプライチェーンの混乱による半導体部品の供給制約や、明治用水の大規模漏水による工場停止等の影響があったものの、円安による輸出採算の向上や消費者需要の回復により、企業収益も回復の動きとなりました。

こうした中で、経済成長率（名目）は6.3%（2021年度2.3%）となり、2年連続のプラス成長となりました。（図1）

生産面では、製造業のうち輸送用機械が増加するとともに、運輸・郵便業などが増加し、製造業、非製造業を問わず全般的に増加しました。分配面では、県民雇用者報酬、企業所得がともに増加しました。

（出典：「2022年度 あいちの県民経済計算」）

図1 経済成長率（名目）の推移



2 地域経済の概況

(1) 地域別総生産

総生産は、市町村内における企業などの経済活動によって生産された財貨・サービスの総額（産出額）から原材料費など（中間投入額）を差し引いた付加価値額をいいます。

2022年度の市町村内総生産を地域別にみると、尾張地域が25兆7,564億円（構成比62.0％）と最も大きく、次いで西三河地域11兆7,984億円（同28.4％）、東三河地域4兆23億円（同9.6％）の順となりました。（表1）

(2) 地域別経済成長率

総生産の対前年度増加率である経済成長率を地域別にみると、尾張地域が2.0％、西三河地域が11.3％、東三河地域が8.7％となりました。（表1）

表1 地域別総生産

（単位：億円、％）

	2021年度	2022年度		
	金 額	金 額	構 成 比	対前年度増加率
県	405,173	430,831	—	6.3
尾 張 地 域	252,622	257,564	62.0	2.0
名古屋ブロック	139,348	143,904	34.6	3.3
尾張北東部ブロック	49,927	51,160	12.3	2.5
尾張中西部・海部ブロック	34,845	34,851	8.4	0.0
知多ブロック	28,502	27,649	6.7	△ 3.0
西 三 河 地 域	106,043	117,984	28.4	11.3
東 三 河 地 域	36,834	40,023	9.6	8.7

（注）構成比欄の数値は、各地域の合計値に対する構成比です。

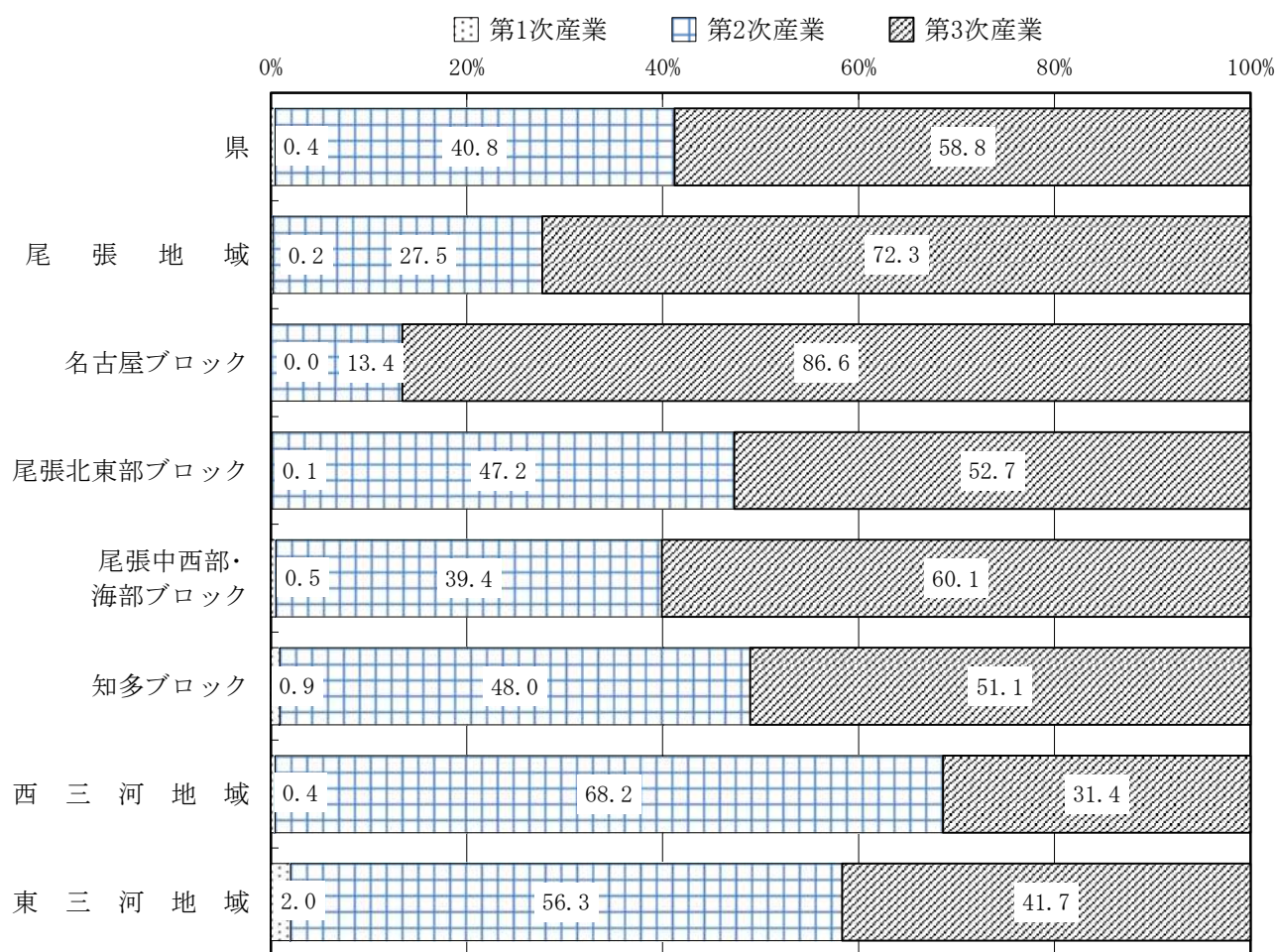
(3) 地域別産業構造

産業構造を地域別にみると、尾張地域は、卸売・小売業や不動産業などの第3次産業の総生産が大きく、その割合が72.3%を占めています。

西三河地域は、第2次産業の割合が68.2%と最も高く、特に輸送用機械関連の製造業が集積しており、県内で第2次産業の構成比が最も高い地域となっています。

東三河地域も、第2次産業の割合が56.3%と最も高くなっています。また、施設園芸農業等が盛んで、第1次産業の構成比が2.0%と他地域に比べて高くなっています。(図2)

図2 地域別産業構成比



(注) 第1次産業：農林水産業
 第2次産業：鉱業、製造業、建設業
 第3次産業：電気・ガス・水道・廃棄物処理業、卸売・小売業、運輸・郵便業
 宿泊・飲食サービス業、情報通信業、金融・保険業、不動産業
 専門・科学技術、業務支援サービス業、公務、教育、保健衛生・社会事業
 その他のサービス

（４）地域別市町村民所得

市町村民所得は、市町村に所在する企業・団体及び居住者が雇用者報酬、財産所得及び企業所得の形で受け取った所得をいい、人口一人当たり市町村民所得は、各市町村の経済水準を示す指標として用いられています。

2022年度の市町村民所得を地域別にみると、尾張地域が18兆8,072億円と最も大きく、全体の約3分の2を占め（構成比65.9%）、次いで西三河地域7兆1,704億円（同25.1%）、東三河地域2兆5,410億円（同8.9%）の順となりました。

また、経済水準を示す人口一人当たり市町村民所得は、西三河地域が447万1千円と最も高く、次いで尾張地域364万9千円、東三河地域343万8千円の順となりました。（表２）

表２ 地域別市町村民所得

	2021年度	2022年度		一人当たり市町村民所得	
	金 額（億 円）	金 額（億 円）	構成比(%)	金 額（千 円）	指 数
県	270,898	286,238	—	3,819	100.0
尾 張 地 域	183,505	188,072	65.9	3,649	95.5
名古屋ブロック	91,968	96,485	33.8	4,148	108.6
尾張北東部ブロック	39,850	40,083	14.1	3,323	87.0
尾張中西部・海部ブロック	30,422	30,377	10.7	3,036	79.5
知 多 ブ ロ ッ ク	21,265	21,127	7.4	3,396	88.9
西 三 河 地 域	59,863	71,704	25.1	4,471	117.1
東 三 河 地 域	24,048	25,410	8.9	3,438	90.0

（注）構成比欄の数値は、各地域の合計値に対する構成比です。

3 市町村経済の概況

(1) 市町村内総生産

ア 経済規模

市町村内総生産を市町村別にみると、名古屋市が14兆3,904億円と最も大きく、全体の約3分の1（構成比34.6%）を占め、次いで豊田市5兆1,597億円（同12.4%）、豊橋市1兆6,802億円（同4.0%）の順となりました。（表3）

表3 市町村内総生産 上位10市町村

（単位：億円、%）

順位	2021年度		2022年度			
	市 町 村 名	金 額	市 町 村 名	金 額	構成比	対前年度増加率
1	名古屋市	139,348	名古屋市	143,904	34.6	3.3
2	豊田市	41,418	豊田市	51,597	12.4	24.6
3	豊橋市	16,169	豊橋市	16,802	4.0	3.9
4	岡崎市	15,262	岡崎市	16,601	4.0	8.8
5	安城市	13,885	小牧市	14,319	3.4	7.8
6	小牧市	13,278	安城市	13,483	3.2	△ 2.9
7	一宮市	10,487	春日井市	10,551	2.5	1.4
8	春日井市	10,409	一宮市	10,346	2.5	△ 1.3
9	西尾市	9,466	田原市	9,535	2.3	23.8
10	刈谷市	8,799	西尾市	8,469	2.0	△ 10.5

イ 総生産の増加額

総生産の前年度に対する増加額を市町村別にみると、豊田市が1兆179億円と増加額が最も大きくなり、次いで名古屋市4,556億円、田原市1,832億円の順となりました。名古屋市のように、人口が多く経済規模の大きい市町村のほか、製造業が大幅に増加した市町村が上位を占めました。（表4）

表4 総生産の増加額 上位10市町村

（単位：億円）

順位	市 町 村 名	金 額	順位	市 町 村 名	金 額
1	豊田市	10,179	6	小牧市	1,040
2	名古屋市	4,556	7	高浜市	704
3	田原市	1,832	8	半田市	638
4	岡崎市	1,339	9	豊橋市	633
5	みよし市	1,310	10	豊川市	384

ウ 経済成長率

経済成長率を市町村別にみると、高浜市が33.9%と最も高く、次いでみよし市26.9%、豊田市24.6%の順となり、製造業が高い伸びを示した市町村が上位の多数を占めました。プラス成長だった市町村数は、全体の約6割の34市町村でした。（表5）

表5 経済成長率 上位10市町村

(単位：%)					
順位	市 町 村 名	経済成長率	順位	市 町 村 名	経済成長率
1	高 浜 市	33.9	6	新 城 市	13.7
2	み よ し 市	26.9	7	半 田 市	11.0
3	豊 田 市	24.6	8	北 名 古 屋 市	9.5
4	田 原 市	23.8	9	大 治 町	9.0
5	豊 山 町	21.1	10	岡 崎 市	8.8

(2) 市町村内純生産

ア 労働生産性

市町村内純生産は、市町村内総生産から固定資本減耗等を差し引いたもので、これを当該市町村の就業人口で除することにより労働生産性を表す指標として用いられています。

就業者一人当たり市町村内純生産を市町村別にみると、田原市が1,578万6千円と最も高く、次いで豊田市の1,193万6千円、みよし市の1,047万3千円の順となりました。（表6）

上位10市町村の産業構造をみると、県と比較して第2次産業の割合がいずれも高くなっています。（図3）

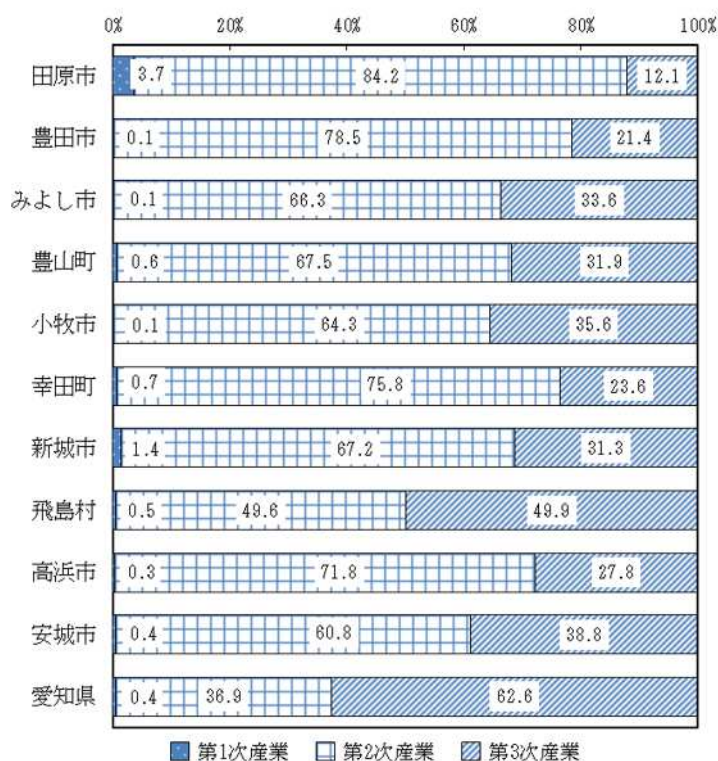
表6 労働生産性 上位10市町村
(就業者一人当たり純生産)

(単位：千円)

順位	市 町 村 名	金 額	指 数
1	田 原 市	15,786	238.6
2	豊 田 市	11,936	180.4
3	み よ し 市	10,473	158.3
4	豊 山 町	10,206	154.3
5	小 牧 市	8,962	135.5
6	幸 田 町	7,861	118.8
7	新 城 市	7,315	110.6
8	飛 島 村	7,051	106.6
9	高 浜 市	6,869	103.8
10	安 城 市	6,625	100.1
	愛 知 県	6,616	100.0

指数は県を100とする。

図3 労働生産性上位10市町村の
産業構成比 (純生産)



(3) 市町村民所得

ア 市町村民所得

市町村民所得を市町村別にみると、名古屋市が9兆6,485億円(構成比33.8%)と最も多く、次いで豊田市の2兆8,051億円(同9.8%)、岡崎市の1兆3,480億円(同4.7%)の順となりました。(表7)

表7 市町村民所得 上位10市町村

(単位：億円、%)

順位	2021年度		2022年度			
	市 町 村 名	金 額	市 町 村 名	金 額	構成比	対前年度増加率
1	名 古 屋 市	91,968	名 古 屋 市	96,485	33.8	4.9
2	豊 田 市	17,910	豊 田 市	28,051	9.8	56.6
3	岡 崎 市	13,593	岡 崎 市	13,480	4.7	△ 0.8
4	豊 橋 市	11,858	豊 橋 市	11,551	4.1	△ 2.6
5	一 宮 市	10,865	一 宮 市	10,709	3.8	△ 1.4
6	春 日 井 市	9,791	春 日 井 市	9,548	3.3	△ 2.5
7	安 城 市	6,740	安 城 市	6,659	2.3	△ 1.2
8	豊 川 市	5,902	豊 川 市	6,141	2.2	4.1
9	刈 谷 市	5,883	刈 谷 市	6,138	2.2	4.3
10	小 牧 市	5,734	小 牧 市	5,901	2.1	2.9

イ 経済水準

地域の経済水準を表す人口一人当たり市町村民所得を市町村別にみると、飛島村が739万8千円で最も高く、次いで豊田市672万3千円、田原市626万6千円の順となり、輸送用機械関連の大規模な製造事業所が集積している市町村が上位を占めました。上位の市町村の構成比をみると、県と比べて民間法人企業所得の占める割合が高い傾向が見られます。（表8、図4）

なお、人口一人当たり県民所得（381万9千円）を100とした指数でみると、最上位は193.7、最下位は51.4となりました。

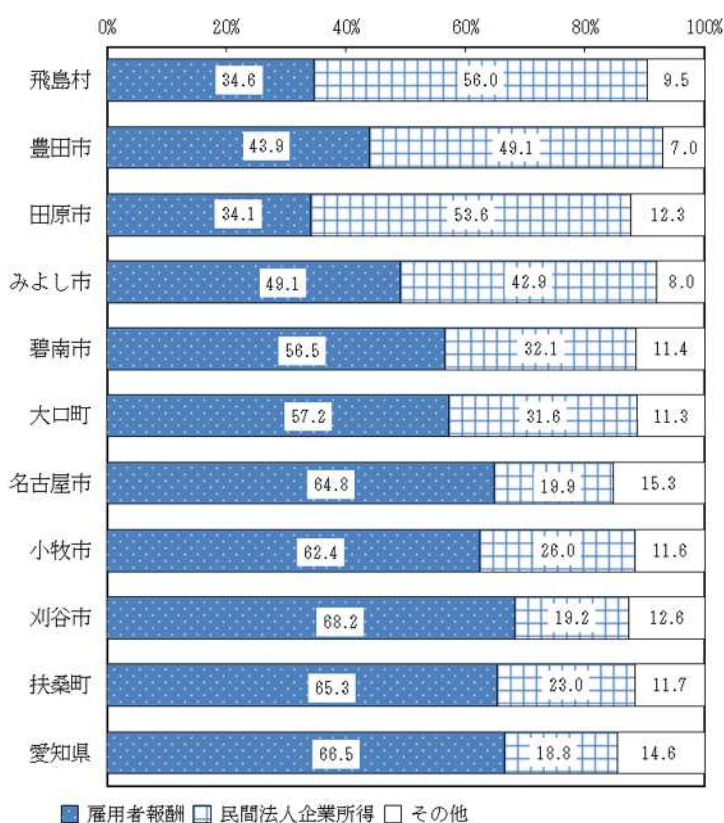
表8 人口一人当たり市町村民所得
上位10市町村

(単位：千円)			
順位	市 町 村 名	金 額	指 数
1	飛 島 村	7,398	193.7
2	豊 田 市	6,723	176.0
3	田 原 市	6,266	164.1
4	み よ し 市	5,933	155.3
5	碧 南 市	4,536	118.8
6	大 口 町	4,341	113.7
7	名 古 屋 市	4,148	108.6
8	小 牧 市	4,009	105.0
9	刈 谷 市	4,000	104.7
10	扶 桑 町	3,965	103.8
	愛 知 県	3,819	100.0

指数は県を100とする。

(注) 人口一人当たり市町村民所得には、企業所得を含む。

図4 人口一人当たり市町村民所得
上位10市町村の分配構成比



ウ 市町村間の所得の流出入

市町村内純生産と市町村民所得との差額は、当該市町村における所得の流出又は流入の状況を表しています。

市町村内純生産の方が多い流出型の市町村は14市町村で、流出額は豊田市が5,230億円で最も大きく、次いで小牧市3,862億円、田原市3,179億円の順となっており、主に産業の集積が高く、雇用機会の多い市町村が上位を占めています。

一方、市町村民所得の方が多い流入型の市町村は40市町で、流入額は一宮市が3,669億円と最も大きく、次いで岡崎市3,186億円、刈谷市2,577億円の順となっており、名古屋市近郊や産業の集積している市町村の周辺に散在しています。
(表9)

表9 所得の流出入額 上位10市町村

(単位：億円)

順位	流 出 額		流 入 額	
	市 町 村 名	金 額	市 町 村 名	金 額
1	豊 田 市	5,230	一 宮 市	3,669
2	小 牧 市	3,862	岡 崎 市	3,186
3	田 原 市	3,179	刈 谷 市	2,577
4	豊 山 町	907	春 日 井 市	2,500
5	名 古 屋 市	800	東 海 市	1,947
6	安 城 市	770	大 府 市	1,606
7	飛 島 村	489	江 南 市	1,552
8	新 城 市	433	日 進 市	1,514
9	大 口 町	288	西 尾 市	1,504
10	幸 田 町	250	豊 川 市	1,378

（４）市町村民家計所得（個人企業を含む）

市町村民家計所得は、市町村内に居住する家計（個人企業を含む）が受け取る雇用者報酬、営業余剰・混合所得、財産所得のほか、社会給付などの移転所得を含んでおり、当該市町村に居住する個人が受け取った所得に近い概念となっています。

未推計である名古屋市を除く53市町村別の市町村民家計所得をみると、豊田市が1兆7,233億円と最も多く、次いで岡崎市1兆4,968億円、豊橋市1兆3,170億円の順となりました。（表10）

また、人口一人当たり市町村民家計所得は、豊田市が413万円で最も高く、次いで長久手市412万8千円、飛島村405万3千円の順となりました。（表11）

県民一人当たり家計所得（381万1千円）を100とした指数でみると、最上位は108.4となりました。

表10 市町村民家計所得 上位10市町村

（単位：億円、％）

順位	2021年度		2022年度		
	市 町 村 名	金 額	市 町 村 名	金 額	対前年度増加率
1	豊 田 市	17,272	豊 田 市	17,233	△ 0.2
2	岡 崎 市	14,942	岡 崎 市	14,968	0.2
3	豊 橋 市	13,300	豊 橋 市	13,170	△ 1.0
4	一 宮 市	12,839	一 宮 市	12,778	△ 0.5
5	春 日 井 市	10,929	春 日 井 市	10,880	△ 0.5
6	安 城 市	7,071	安 城 市	7,038	△ 0.5
7	豊 川 市	6,750	豊 川 市	7,024	4.1
8	刈 谷 市	5,971	刈 谷 市	5,979	0.1
9	小 牧 市	5,420	小 牧 市	5,416	△ 0.1
10	西 尾 市	5,342	西 尾 市	5,362	0.4

（注）名古屋市を除く。

表11 人口一人当たり市町村民家計所得 上位10市町村

（単位：千円）

順位	市 町 村 名	金 額	指 数	順位	市 町 村 名	金 額	指 数
1	豊 田 市	4,130	108.4	6	東 浦 町	4,004	105.1
2	長 久 手 市	4,128	108.3	7	岡 崎 市	3,907	102.5
3	飛 島 村	4,053	106.3	8	大 府 市	3,899	102.3
4	み よ し 市	4,034	105.8	9	刈 谷 市	3,896	102.2
5	知 立 市	4,007	105.1	10	東 海 市	3,843	100.8
					愛 知 県	3,811	100.0

指数は県を100とする

地域別 統計表

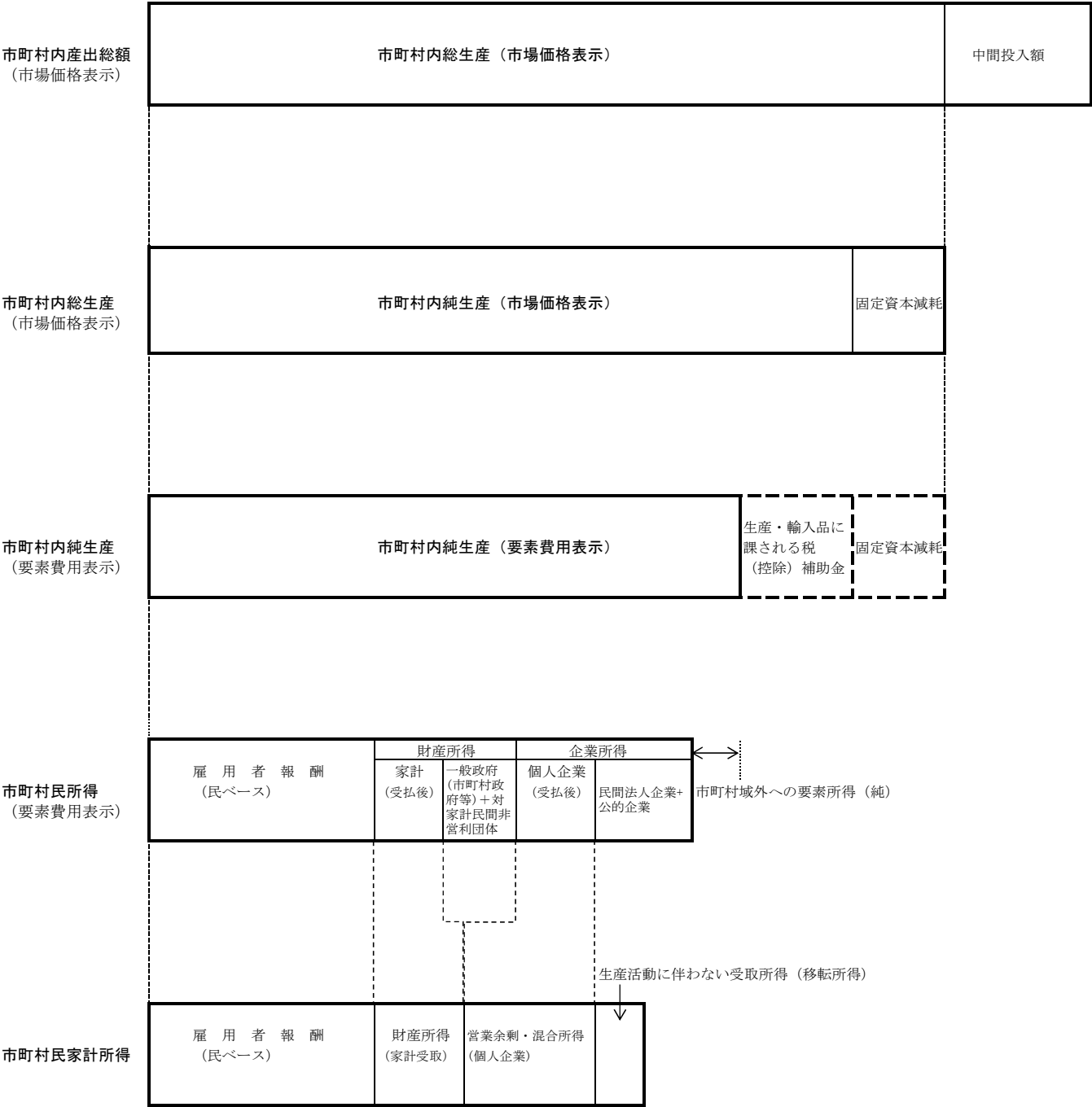
	市町村内総生産			人口一人当たり市町村民所得	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年度増加率 (%)	金額 (千円)	指数 (県=100)
尾張地域	25,756,374	62.0	2.0	3,649	95.5
名古屋ブロック（名古屋市）	14,390,430	34.6	3.3	4,148	108.6
尾張北東部ブロック	5,115,985	12.3	2.5	3,323	87.0
瀬戸市	486,198	1.2	1.5	3,132	82.0
春日井市	1,055,108	2.5	1.4	3,112	81.5
犬山市	370,909	0.9	△ 1.5	3,138	82.2
江南市	227,547	0.5	7.9	3,097	81.1
小牧市	1,431,855	3.4	7.8	4,009	105.0
尾張旭市	248,090	0.6	△ 3.3	3,268	85.6
岩倉市	113,228	0.3	1.2	2,907	76.1
豊明市	218,483	0.5	1.7	2,911	76.2
日進市	256,298	0.6	3.6	3,410	89.3
長久手市	230,465	0.6	△ 7.0	3,728	97.6
東郷町	131,279	0.3	△ 4.7	3,241	84.9
大口町	262,275	0.6	0.6	4,341	113.7
扶桑町	84,250	0.2	4.3	3,965	103.8
尾張中西部・海部ブロック	3,485,103	8.4	0.0	3,036	79.5
一宮市	1,034,628	2.5	△ 1.3	2,846	74.5
津島市	194,220	0.5	0.1	2,842	74.4
稲沢市	547,552	1.3	△ 1.0	3,038	79.6
愛西市	140,921	0.3	0.2	2,812	73.6
清須市	283,499	0.7	△ 8.4	3,712	97.2
北名古屋市	316,541	0.8	9.5	3,293	86.2
弥富市	211,340	0.5	1.7	3,359	88.0
あま市	230,134	0.6	△ 2.7	2,966	77.7
豊山町	194,588	0.5	21.1	3,391	88.8
大治町	76,263	0.2	9.0	2,653	69.5
蟹江町	119,396	0.3	△ 0.6	3,272	85.7
飛島村	136,021	0.3	△ 12.1	7,398	193.7
知多ブロック	2,764,856	6.7	△ 3.0	3,396	88.9
半田市	641,362	1.5	11.0	3,584	93.9
常滑市	239,573	0.6	4.1	3,091	80.9
東海市	646,719	1.6	△ 7.3	3,668	96.1
大府市	427,770	1.0	△ 1.3	3,778	98.9
知多市	259,290	0.6	△ 28.2	3,013	78.9
阿久比町	99,577	0.2	△ 5.6	2,911	76.2
東浦町	161,239	0.4	△ 2.8	3,493	91.5
南知多町	46,856	0.1	△ 6.0	2,560	67.0
美浜町	73,032	0.2	1.7	2,807	73.5
武豊町	169,438	0.4	7.8	3,317	86.9

	市町村内総生産			人口一人当たり市町村民所得	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前年度増加率 (%)	金額 (千円)	指数 (県=100)
西三河地域（ブロック）	11,798,387	28.4	11.3	4,471	117.1
岡崎市	1,660,123	4.0	8.8	3,519	92.1
碧南市	484,278	1.2	3.5	4,536	118.8
刈谷市	837,624	2.0	△ 4.8	4,000	104.7
豊田市	5,159,746	12.4	24.6	6,723	176.0
安城市	1,348,331	3.2	△ 2.9	3,564	93.3
西尾市	846,913	2.0	△ 10.5	2,742	71.8
知立市	213,557	0.5	1.6	3,749	98.2
高浜市	277,936	0.7	33.9	3,522	92.2
みよし市	618,096	1.5	26.9	5,933	155.3
幸田町	351,783	0.8	0.9	3,473	90.9
東三河地域（ブロック）	4,002,280	9.6	8.7	3,438	90.0
豊橋市	1,680,218	4.0	3.9	3,146	82.4
豊川市	760,372	1.8	5.3	3,331	87.2
蒲郡市	291,488	0.7	△ 0.5	3,220	84.3
新城市	287,151	0.7	13.7	3,177	83.2
田原市	953,501	2.3	23.8	6,266	164.1
設楽町	18,746	0.0	3.7	2,590	67.8
東栄町	7,089	0.0	0.3	1,962	51.4
豊根村	3,715	0.0	4.0	2,428	63.6

（注） 地域は、2020年11月策定の「あいちビジョン2030」の区分による。

地域ブロックは、2023年12月策定の「愛知県まち・ひと・しごと創生総合戦略2023-2027
（愛知県人口問題対策プラン）」の区分による。

市町村民経済計算の諸概念と相互関連



(注) 市町村内純生産と市町村民所得、市町村民所得と市町村民家計所得は大小関係が逆になる場合もあります。

社会・経済トピックス

年 月	円の対米 ドルレート	事 項
2022 年 4 月	126.04 円	・善光寺(長野)で「前立本尊」御開帳始まる コロナ禍で延期、1年遅れ ・東証再編、3市場がスタート 最上位「プライム」に従来の一部から大半移行 ・知床沖で観光船沈没 乗客乗員 26 人、うち発見 14 人の死亡確認 ・全国初の平成生まれ市長が誕生 大阪府泉南市で 31 歳の山本優真氏 ・★名古屋銀行と静岡銀行が包括業務提携 株式持ち合い、合併は目指さず
5 月	128.78 円	・★トヨタの営業益 2.9 兆円 3月期、日本企業の最高更新 円安追い風 ・経済安全保障推進法が成立 規制対象、国の裁量大きく企業に懸念 ・岐阜市の長良川鵜飼が通常通り開幕 過去2年はコロナ禍で延期 ・★愛知県豊田市の明治用水頭首工で漏水 農業用の給水停止、工場にも影響
6 月	133.86 円	・2022 年3月末から中国上海市において行われていたロックダウンが解除される ・2021 年生まれの赤ちゃんの数 81 万 1,604 人 統計史上最少 ・訪日外国人観光客の入国手続き再開 コロナ流行で途絶えて約2年ぶり
7 月	136.63 円	・安倍晋三元首相撃たれ死亡、参院選の街頭演説中 容疑の元海自隊員逮捕 ・コロナ感染 11 万人超す 1日当たり国内過去最多、「第7波」本格化 ・フィギュアスケート男子の羽生結弦選手引退 五輪連覇、プロ転向 ・鹿児島県の桜島が噴火 警戒レベル最高の5「避難」を気象庁が適用
8 月	135.24 円	・全国高校野球選手権が開幕 コロナ対策で開会式参加は各校主将のみ ・★鈴木礼治・元愛知県知事死去 愛知万博誘致、中部国際空港推進
9 月	143.14 円	・静岡県牧之原市の認定こども園で3歳女児死亡 通園バス内に置き去り ・★中日の福留孝介外野手が引退表明 プロ野球界最年長 45 歳、首位打者2度 ・エリザベス英女王死去 最長 70 年在位、新国王はチャールズ3世 ・★トヨタ、ロシア生産撤退を発表 ウクライナ侵攻影響、新車販売も断念
10 月	147.01 円	・★愛知銀行と中京銀行が経営統合 愛知県の地銀同士の再編は戦後初めて ・コロナ水際緩和、入国上限など撤廃 国内客向け全国旅行支援もスタート ・★名古屋テレビ塔が国重要文化財へ 全国のテレビ塔で初、文化審議会答申 ・連合、2023 年春闘で5%賃上げ要求へ 物価高受け 28 年ぶり水準 ・ソウルで雑踏事故、死者 156 人 ハロウィーン前に若者ら狭い坂道に密集
11 月	142.44 円	・★ジブリパークが愛・地球博記念公園内に開園 ジブリ作品の世界観を表現 ・★世界体操女子平均台で渡部葉月選手が優勝 日本女子最年少 18 歳2か月 ・★次世代半導体の国産へ新会社設立 トヨタなど8社、政府 700 億円補助 ・世界の人口が 80 億人を突破 国連推計 2059 年までに 100 億人超え予想 ・★郡上踊(岐阜)、綾渡の夜念仏(愛知)など風流踊 41 件が無形文化遺産に
12 月	134.93 円	・★フィギュア GP ファイナル男子で宇野昌磨、女子で三原舞依両選手が初 V ・★全国広範囲で大雪「クリスマス寒波」名古屋は8年ぶり 10 センチの積雪 ・中国が「ゼロコロナ」政策終了を発表 日本は中国から入国の水際強化へ
2023 年 1 月	130.20 円	・皇居で3年ぶり新年一般参賀 愛子さまは成年皇族として初めて参加 ・国債の利率を年 0.5%に引き上げ 10 年物の入札、8年ぶり水準 ・中国が春節連休入り 4年ぶり行動制限なし 水際強化で日本観光は低調 ・コロナの感染症法上の位置付けを5月8日に「5類」へ移行 政府決定 ・★トヨタ、2022 年の世界販売首位 3年連続 前年比 0.5%減の 956 万台
2 月	132.68 円	・★愛知県知事選で大村秀章氏が4選 共産推薦新人ら5氏破る ・ノルディックスキーW 杯ジャンプ女子第 17 戦で日本勢が初の表彰台独占 ・★豊田章一郎トヨタ名誉会長死去 海外生産推進「世界のトヨタ」築く ・★トヨタが春闘初回交渉で2年連続の満額回答 ホンダも満額、ベア最高額 ・ロシアによるウクライナ侵攻1年 停戦の兆しなく、1,300 万人避難生活 ・2022 年の出生数 80 万人割る 1899 年統計開始以来初、推計より 10 年早く
3 月	133.85 円	・日韓首脳会談、日本で5年ぶり 関係正常化で合意、シャトル外交再開へ ・選抜高校野球が開幕 コロナ禍経て4大会ぶりに全出場校が入場行進 ・★将棋の藤井聡太五冠が棋王を奪取 20 歳8か月、最年少で六冠達成 ・野球 WBC で日本が世界一 米破り 2009 年以来3度目 MVP に大谷翔平 ・文化庁が京都での業務スタート 中央省庁で初めて本庁を地方移転

注1) 円の対米ドルレートは、日銀統計（東京外国為替市場のインターバンク相場スポットレート月平均）による。

注2) ★印は、愛知県に関連深い出来事を示す。